

2021年1月吉日

全国の社会福祉協議会職員のみなさまへ

関西社協コミュニティワーカー協会
会長 高橋 俊行（公印省略）

新型コロナウイルス感染症特例貸付に関する 社協職員アンケート実施について(ご協力)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大により社会全体様々な影響を及ぼしています。社協事業においては、新型コロナウイルス感染症特例貸付が期間延長を繰り返し、運用開始から1年がたとうとしています。

生活福祉資金は、戦後、民生委員が主体となって低所得世帯の自立厚生に取り組んだ「世帯更生運動」が原点であり、相談支援を併せ持った貸付制度です。また、特例貸付は、阪神・淡路大震災、東日本大震災などの大規模災害時に被災者の生活再建のための役割を果たしてきました。

今回の特例貸付では、件数が多すぎて「相談支援ができない」、「相談崩壊になるのではないか」という声がある一方、「相談は少ない」、「丁寧な支援ができています」という声もあり、都市規模、地場産業等の状況などによっても違うかと思えます。いずれの場合であっても特例貸付を通じて、生活課題への対応、生活福祉資金の今後のあり方については共通した問題意識ではないかと考えています。

私たち、関西社協コミュニティワーカー協会（通称：関コミ）ではプロジェクトを立ち上げ、新型コロナウイルス感染症特例貸付業務を通じて、全国の社協職員が抱えている状況を把握し、全社協、都道府県・政令都市社協、厚生労働省へ報告、各種学会等の場での発信（アクション）や関コミが主催する「全国社協職員のつどい」での報告などに使用することを目的に職員一人ひとりの「声をつむぐ」アンケートを実施いたします。

急な案内ではありますが、下記の内容でアンケートを実施いたしますので、ぜひ、アンケートへの協力をお願いいたします。

記

1. アンケート実施期間 : 2021年 1月15日 ~ 2月20日まで
2. アンケート回答方法 : Google フォーム
右 QR コードを使って回答をお願いします。
(URL: <https://forms.gle/ddBncEgMoZqaEFzw5>)
3. 対象者 : 特例貸付に何らかの形で関わっている（いた）職員
4. アンケート回答時間 : 目安20分程度
5. 質問、問い合わせがありましたら、下記アドレスまでお願いいたします。
kansaishakyo@yahoo.co.jp



6. 実施主体

関西社協コミュニティワーカー協会・社協現場の声をつむぐ1000人プロジェクト

7. 関西社協コミュニティワーカー協会について

関西の社協職員が中心となって1994年1月に設立した任意団体です。「住民主体」の社協活動をめざし、地域福祉の発展と向上を図ることを目的に、社協ワーカーとしての専門性と社会的地位の向上を目指し、全国の社協職員との交流を行っています。